

中央工学校 O S A K A
学 校 関 係 者 評 価 書
(令和 5 年度)

評価対象期間

自：令和 5 年 4 月 1 日

至：令和 6 年 3 月 3 1 日

令和 6 年 8 月 2 9 日

中央工学校 O S A K A

学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、令和5年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。なお、評価の観点には次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

3. 組織

(1) 学校関係者評価委員会

座 長：	田鍋 稔	公益社団法人大阪府建築士会常任理事
委 員：	金沢ちかこ	公益社団法人日本インテリアデザイナー協会 西日本エリア副エリア長
	小坂田昌広	株式会社松本組取締役兼副社長執行役員
	田中 由之	株式会社ピーピーアイ計画・設計研究所 取締役設計室室長
	岩尾 美穂	オフィスいろどり代表
事務局：	中村 聖吾	中央工学校OSAKA校長
	原 充介	中央工学校OSAKA教務部長兼教務室長
	檜崎 悟志	中央工学校OSAKA教務室係長
	戸澤まり子	中央工学校OSAKA建築系学科長（教育）
	中島 征治	中央工学校OSAKA建築系学科長（進路・広報）
	諸岡 邦行	中央工学校OSAKA建築系主任（広報）
（敬称略・順不同）		

(2) 任期

委員（座長含む）任期は令和6年4月1日～令和8年3月31日とする。

4. 実施

令和6年8月2日（金）、中央工学校OSAKA1号館31教室において、学校関係者評価委員会を開催した。

5. 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員会議事概要

ア. 議事の進行

中村校長の挨拶に続いて、事務局の原教務部長から、学校評価（自己評価・学校関係者評価）の概要について説明があり、併せて学校関係者評価シートの記入について留意事項を確認した。

イ. 自己評価書について

①学校概要の確認

事前に送付されていた自己評価書をもとに、「建学の目的（アドミッションポリシー）」「基本的運営方針」「具体的方策（厳しい実務教育・人間涵養教育・楽しい学校生活・誇りの持てる学校）」及び学校の現状（「学生数」「教職員数」「学習概況」）について、学校が全般的に良好に運営されていること、教育内容の改善が継続的に行われていること等を確認した。

②自己評価結果の報告と学校関係者評価シートの記入

事務局の原教務部長から、令和5年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。（ ）内は自己評価書の評価項目番号

- (1) 教育理念・目的・育成人材像
- (2) 学校運営
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 留学生（国際交流）

続いて、事務局の戸澤建築系学科長から、令和5年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。（ ）内は自己評価書の評価項目番号

(3) 教育活動

- 建築学科
- 住宅デザイン科
- インテリアデザイン科

(4) 学修成果

- 建築学科
- 住宅デザイン科
- インテリアデザイン科

③自己評価総括の確認

自己評価結果を踏まえた課題が確認できた。それぞれの課題について、改善に向けて努力することを確認した。

(2) 学校関係者評価結果

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、以下について確認した。委員の意見を集約すると次のとおりである。

ア. 自己評価の内容が適切かどうか

令和4年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。概ね妥当で自己評価の内容は適切であると判断する。

イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

理解しづらい記述があった。具体的でわかりやすい表現をお願いしたい。

コロナ禍にあり、難しい面もあるが、具体的に方策を練り、実施することで評価の向上を目指していただきたい。

ウ. 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか

学校の重点目標や具体的方策等は、社会や業界のニーズを的確に捉えており、適切であると判断する。今後も企業との連携を一層深め、教育に反映させてほしい。

エ. 学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

各項目において、問題点や課題が把握され、改善に向けた取り組みについて確認できた。適切であると判断する。

6. 項目別評価

(1) 教育理念・目標・育成人材像

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・教育理念・目的・育成人材像は定められているか。	☒ 4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か。	☒ 4	3	2	1
・社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	☒ 3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、学生・保護者等に周知されているか。	☒ 4	3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、業界のニーズに対応しているか。	☒ 4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・卒業生数人を知っており働きぶりは真面目でスキルを活かそうと目標を高く持っている。

学校の教育理念が浸透していると評価できる。

・専門性を強く感じられる内容かと思いますので、保護者にとっては卒業後が気になるかと思います。その説明も充実されている事と思います。

・適正に評価されていると思います。課題と方策に記載されている様に社会ニーズ、状況が大きく変化している現状ではありますが、ポリシーである技術者、創造力のある人材育成に努めて戴きたいと思います。

・適切に評価されていると思います。生徒（学生）数が減少していく中、もう一度、学生にとって魅力のある特色を継続的に考えていく必要はあると思いました。

・時代のニーズを捉え続けながら、学校の方向性を決めていく工程は楽ではないと思いますが、引き続きアップデートに努めてください。

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1
・ 学則・細則・内規等は整備されているか。	4	3	2	1
・ コンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1
・ 教育活動に対する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1
・ 情報システム化等により業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・コンプライアンス・情報公開・情報システム化については、最近様々な社会的リスクがも
ち上がっている。パワハラ、SNS での不適切な書き込み、情報漏洩等、毎年のように状況
が変わるので常に Update が必要。「できている」と思わずに「これでよいか？」という意
識で日々注意して頂きたい。

・マナー教育を行っている事は良い事で続けて行って下さい。その中でもマナー違反をする
学生がいるのは残念なことです、難しいと思いますが続けて欲しいです。会社では教えて
もらえないマナー基礎力できている学生を欲していると思います。

・現状素早い情報収集とその対策・対処が適切にされていると見受けられます。引き続き学
校の存続に関わる重要な事項ですので、時代の要求事項に対応した細やかな対応が求めら
れますが、継続に努めるようお願いします。

・適切に評価されていると思います。

・それぞれ細やかに方針やルールを立てていると思います。

(3) 教育活動

■建築学科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 5名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・[各科共通]: IT・デジタル環境の向上が学生にとっての受講エクスペリエンスの向上につながると思う。(GoogleClassroomなどは良い。先生の方が対応できているか?)

・引き続き資格試験の対策を行って下さい。社会人になっては時間もお金もかかる事を学生に知って欲しいです。「今しかない!!」

・適切に評価されていると思います。課題に記載されている様に、社会及び技術の変化や学生のモチベーションに対する方策を策定し、改善に努めて戴ければと思います。

・適切に評価されていると思います。具体的な対策等をまとめられていて、良いと思いました。(3学科共通)

・学生からヒアリングされるアンケートについて、年度末に限らず授業スタート後、間もないタイミングで取得されるのはどうでしょうか? 講師の指導にも反映しやすくなると思います。(3学科共通)

■住宅デザイン科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・ソフトウェアの選択は教科の内容と別の話だが、カリキュラムがそれに左右されることは本来避けたい。(致し方ないところもある)

[各科共通]: ソフトウェアなどツールの上手や下手が成績にならないよう評価をしっかりとってほしい。

・引き続き資格は大切だと思います。一番就職に近い学科だと思います。ソフトは住宅メーカーはほとんど ARCHITREND です。

・適切に評価されていると思います。各項目において思慮検証に苦慮されているのが見受けられます。変化の流れが速いと思われませんが、より早く情報収集し対応・維持に努めるようお願いします。又、創造性豊かな育成をお願いします。

・適切に評価されていると思います。具体的な対策等をまとめられていて、よいと思いました。(3 学科共通)

・学生からヒアリングされるアンケートについて、年度末に限らず授業スタート後、間もないタイミングで取得されるのはどうでしょうか? 講師の指導にも反映しやすくなると思います。(3 学科共通)

■インテリアデザイン科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・[各科共通]：ソフトウェアなどのツールの上や/下手が成績にならないよう評価をしっかりと頂きたい。

・早々と AI を取り入れるのは良いと思います。他校は悪のように言われています。他との差別化が取れると思います。AI を使える人材は必要になると思います。

・適切に評価されていると思います。課題に記載されている様にモチベーション、技術力、に対する方策を策定し、改善に努める様お願いします。

・適切に評価されていると思います。具体的な対策等をまとめられていて、良いと思いました。(3 学科共通)

・学内で学ぶことだけでなく広くアンテナを張って、実際に自分の目で見て体感することの重要性や必要性を学生に伝え続けて欲しいと思います。

(4) 学修成果

■建築学科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・[各科共通]: インターンシップが任意になり「キャリアマップ」活用が広がる中、学校としてはリアルな人間関係に基づく進路の紹介ができると良いと思う。

・学生が学校へのエンゲージメントを高めるには何が必要か? 学生のモチベーションは様々、多様化の一途、就職だけが目標ではなくなっているかもしれない。エンゲージメント・モチベーションを高める(高く維持する)ために、建築士会や建築士事務所協会(法定団体)が協力できることがあればご教授頂きたい。

・個人で就職活動を行っている学生が増加しているのは良い傾向だと思います。意識が高い学生とそうでない学生のバランスが難しいと思いますが、これからも指導をお願いします。

・適切に評価されていると思います。各項目の率向上に向けて課題に対する改善方策の実施に努めるようお願いします。

・適切に評価されていると思います。

・就職率100%は素晴らしいです。学業をやり切ったことは学生の今後の大きな力になると思います。

■住宅デザイン科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・[各科共通]: インターンシップが任意になり「キャリアマップ」活用が広がる中、学校としてはリアルな人間関係に基づく進路の照会ができるといいと思う。

・学生が学校へのエンゲージメントを高めるには何が必要か? 学生のモチベーションは様々、多様化の一途、就職だけが目標ではなくなっているかもしれない。エンゲージメント・モチベーションを高める（高く維持する）ために建築士会や建築士事務所協会（法定団体）が協力できることがあればご教授頂きたい。

・個々の学習ステップに合わせての指導ができているのは良いと思います。

・適切に評価されていると思います。各項目の率向上に向けて挙げた課題に対する改善策の策定に苦慮されている様、見受けられます。大変でしょうが方策の実施に努めるようお願いします。

・就職希望者は減ったとのことで残念ですが、退学率が大きく改善されたことは良いです。まずは「やり切った」「ゴール（卒業）した」という達成感や成功体験は、彼らが次へ進む力になると思います。

■インテリアデザイン科

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・[各科共通]: インターンシップが任意になり「キャリアマップ」活用が広がる中、学校としてはリアルな人間関係に基づく進路の紹介ができるといいと思う。

・学生が学校へのエンゲージメントを高めるには何が必要か? 学生のモチベーションは様々、多様化の一途、就職だけが目標ではなくなっているかもしれない。エンゲージメント・モチベーションを高める（高く維持する）ために建築士会や建築士事務所協会（法定団体）が協力できることがあればご教授頂きたい。

・カリキュラムが明確で良い。1年で資格取得に力を入れることで自信にもつながり、2年では将来に向けての行動ができるので良い。インテリア業界は裾野が広いのでいろいろなチャンスがあると思います。

・適切に評価されていると思います。各項目の率向上へ向けて挙げた課題に対する改善具体策を策定し、改善に努めて戴く様お願いします。

・すごく高い資格取得率ですね! これらの合格した成功体験が、社会に出た時のモチベーションになっていくことを願います。

(5) 学生支援

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・進路については学校の魅力を計る大きな要素。また長いキャリアのスタートでもあるのできめ細やかな対応が必要。卒業後も追跡調査できると良いと思う。健康については、メンタル面も支援して頂くようお願いしたい。気軽にささいな事も話せるような安心感ある関係を築いて頂きたいと思う。(スクールカウンセラーなど)

・前倒しの企業説明があるのは良い事だと思います。将来を見えている方が学業にはりがでると思います。個々に寄りそっているのが感じられます。

・適正に評価されていると見受けられます。現状の情報社会では個々直接のつながりが減少している中で教職員全体での対応や体制築かれているのは素晴らしく、継続お願いします。他校と合同の企業説明会の開催について、互いにより良い方向に情報共有し、業界発展に継がる様お願いします。

・健康診断の結果は、どの程度把握されているのでしょうか？(全ての結果をみているのでしょうか？)

・1年生のうちから企業理解、又は働くことを理解する機会を設けられていることはとても良いと思います。又、学校で学ぶ2年間は社会人としての基本を身につける時間にもなると思いますので、学業(課題提出)や生活管理など、自分でできるようになる意識づけの機会やしぐみがあると良いと思いました。(年齢的に保護者が出てこなくてもよい状態が好ましいかと感じました。)

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1
・学内外の実習施設・インターンシップ等について充分整備されているか。	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

- ・施設・設備の維持管理や修繕も建築系の学生にとっては良い教材となるかも知れない。
- ・インターンシップは最近の採用活動早期化により就活の第1歩と考える学生・企業も多くなる傾向。重視されて進路や学校の魅力に継げて頂きたい。
- ・施設の整備を常に行っていると思います。インターンシップの前倒も必要だと思いましたので、先に行動できる事は学生には告知は必要だと思いました。
- ・適切に評価されていると思います。学生のモチベーションアップの為にも富士教育訓練センターでの「建築施工実習」の継続、その他負担の少ない「実習」の実施はいかなものか。
- ・社会に出る就職に対する早めの取組は継続、活性化お願いします。
- ・適切に評価されていると思います。
- ・適切に管理・対応されていると思います。

(7) 学生の受け入れ募集

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・学生募集活動は適正に行われているか。	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・より優秀な学生を募集するには、本質的には学校の魅力向上に尽きる。その「魅力」が高校生や保護者に届くよう、工夫して頂きたいと思う。少子化 18 才人口減少に前もって対応できるよう、準備を始めて頂きたい。

・「オンリー 1 の学校」を強化してほしいと思います。人間性・実務性・感性に於いて、オンリー 1 を目標にすると、とても個性が見えてきました。高校 2 年生に将来のことを伝えるのは難しいところですが、頑張ってください。

・適切に評価されていると思います。学校運営（経営）に継がる重要な項目であり、特記事項に記載されている様、厳しい現実には苦慮されているのが見受けられます。状況がめまぐるしく変化していく中で、求める事（学生側）と求められる事（学校、企業側）の情報収集し、対処していくことではないでしょうか。

・適切に評価されていると思います。学生に選ばれる特色のある学校運営とカリキュラムが求められていると思います。長い目でみたビジョンが必要だと思います。

・経営の基盤となる学生の確保はいつまでたってもご苦勞の絶えない業務かと思いますが、「オンリーワン」を目指して進めて欲しいと思います。そのためにも中央工学校「だから」学べるカリキュラムが作れると良いかなと思います。

(8) 財務

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか。	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・財務については数年先の見通しがついているかという点で、学納金だけでは思いきった対応がとりづらいところ、変革に向けた（人口減少含め）予備費を持っておきたい。資産管理もその検討に含まれると思う。

・新入生だけが財務の要だこの先大変になると思いました。大人、学びたい大人をターゲットに何かできないかと思いました。教育者の人材確保も大変ですが、違う方向も視野に入れてみてはいかがでしょうか。

・適切に評価されていると思われます。課題に記載されている財務基盤について記載の抜本的改善必要であれば、具体的方策を策定し、取組む事が望めます。

・適切に評価されていると思います。

・適切に行われているとのことですので、特にありません。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	---------	---------

【自由記述】

・監査もしっかり行われているということで特に意見なし。

・特にありません。

・法令等遵守運営に対し適切に評価されていると思います。引き続き適正な運営継続をお願いします。

・適切に評価されていると思います。学生の法令（特にインターネット関連）の知識の教育が必要と思います。

・特にありません。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・ボランティアの自己評価の2は気になる。自己評価の評価項目は文科省の指定によるのか？全てにわたって優等生である必要はない気がする。

・(ボランティア活動の項目が) 2になっているのが不明な感じがしました。

・適切に評価されていると思います。課題に列挙されている事項(支援・評価する体制)について(調査・評価するだけでも)方策し、実施対応すべきではないでしょうか。

・適切に評価されていると思います。

・課題に書かれていますが、ボランティアは個々の意思によるものだと思いますし、意識のある人は自ら情報を探しますので、学校が率先してサポートする必要はないと考えます。しかし、学生に対しては自己の視野を広げることができるものなので、ボランティアに携わってみて欲しいなどは感じます。

(11) 留学生（国際交流）

評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか。	4	3	2	1
・受け入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか。	4	3	2	1
・留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適 切 5 名	不適切 0 名
----------------	--------------	--------------

【自由記述】

・国際情勢（通貨など）により留学生の動向は常に変動する。ベトナムなどは人材交流のための機関があるので連携されると良いと思う。

・（留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか。の項目について）強化できるかと思いました。やりきれていないことがあると思いました。

・適切に評価されていると思います。改善方策の対応維持に努めていただく様お願いします。

・適切に評価されていると思います。

・特にありません。

7. 総括

令和5年度における学校業務について、自己評価結果の報告に基づき、学校関係者評価を行った。評価の観点に照らして、全般的に適切な自己評価結果であると判断する。

以上